

報道関係者各位



コロナ禍での
継続した
地域交流

洛和会音羽病院 地域の高校生から手作りガウンを寄贈

本来であれば、職業体験など産学連携の取り組みを予定していた洛和会音羽病院（京都市山科区）と京都府立東稜高等学校（京都市伏見区）。新型コロナウイルス感染症の影響でそれらの活動が中止となっていますが、昨年引き続き、生徒会を中心とした有志の学生が作ったガウンを病院に寄贈していただくことになりました。

昨年の秋、コロナウイルスが猛威を振るう中、学生たちが「今、何ができるか」を話し合い、始まった医療機関へのガウンの寄付。受け取った個包装の中には、医療従事者へ感謝の気持ちを込めたメッセージカードが1枚ずつ入っていました。今回はその第2弾となり、学生が来院し、院長に手作りのガウンを手渡しします。

当会では、コロナ禍でもつながり続ける地域との絆を大切に、今後も医療・介護を通して住みよいまちづくりに貢献してまいります。ぜひ、取材にお越しく下さい。

【当日スケジュール】

日時：2021年7月12日(月) 16:00～

場所：洛和会音羽病院 会議室



メッセージ入りの手作りガウン



【洛和会ヘルスケアシステム】

代表者：理事長 矢野一郎
所在地：京都市山科区音羽八ノ坪 51-4
設立：1950(昭和25)年
URL：<http://www.rakuwa.or.jp/>
主な事業：医療、介護、健康、保育、教育、研究

【本件に関するお問い合わせ先】

洛和会ヘルスケアシステム
企画広報 アローフィールド 岩井
TEL：075(594)8488
FAX：075(501)4583
e-mail：kouhou@rakuwa.or.jp

※取材にお越しいただく際は、上記まで事前連絡をお願いします。

※写真は昨年秋のものです

※検温を行い、マスク着用の上、最少人数でご来院ください。